湯前町広報誌［広報ゆのまえ］
Yunomae 05
2016.MAY
Vol.419
特集
平成28年度施政方針・当初予算
安心安全の学校給食
学校給食調理場落成
奥球磨材の魅力たっぷり
新ゲストハウス落成
水木しげるの世界を堪能
ゲゲゲの妖怪図鑑展
【今月の表紙】
湯前中学校入学式

より、おいしく安全な給食を子どもたちへ

学校給食調理場落成式

湯前町学校給食調理場の落成式が4月9日、湯前小学校敷地内で開かれ、関係者70人が参加し、代表者によるテープカットや学校給食の試食が行われました。

昭和58年に建てられた旧調理場は33年を経過し、老朽化。現在の衛生基準に対応し、子どもたちに、より安心安全な学校給食を食べてほしいと昨年9月から湯前小プール跡地で建設が始まりました。

建物は木造の平屋建て、床面積は447.12平方㍍。床に水を流さず、乾いた状態で調理や洗浄作業を行うことができるドライシステムやアレルギー調理室、風圧シャワー室などを新設し、衛生管理を徹底。設計監理は本田建築設計事務所、施工は味岡・力一建設工事共同企業体で、総工事費は約2億7000万円。

新調理場ではこれまでと同じように1日約330食が作られ、4月13日から湯前小・中学校の子どもたちへ給食の提供が始まりました。

鶴田正已町長は「次世代を担う子どもたちの健全な成長を推進するための重要な施設。林業のまちならではの木造の給食調理場が完成した。地産地消で安心でき、おいしい給食を子どもたちへ提供できるように努めていく」とあいさつしました。

式典後には給食の試食会が開かれ、出席者は麦ご飯、チキンカレー、㈱クマレイのほうれん草を使ったサラダ、球磨産のイチゴを試食し、「おいしい!」と舌をうならせていました。

1 テープカットで落成を祝う関係者
2 新調理場で作られた給食を試食する参加者
3 おいしい給食は作る人の真心と笑顔から
4 湯前小体育館のとなりに建てられた新調理場
5 新学期になり調理場から給食を運ぶ児童たち

【前　室】

手洗い・消毒、白衣やエプロンの洗濯、乾燥、殺菌などを行う。

【シャワー室】

風圧で白衣や帽子などについてホコリ・異物を落とす。

【洗浄室】

使った器具・返却された食器を洗浄する。

【調理室】

野菜の裁断やボイル、煮物、汁物、焼き物、揚げ物などを調理。

【アレルギー室】

アレルギー食を調理する部屋。個人ごとの容器への配缶作業も行う。

【和え物室】

加熱・消毒した食材の和え調理をする。調理後の配缶作業も行う。

No.1

平成28年度湯前町消防団辞令交付式・ポンプ操法大会
第3分団第3部A（野中田）第2分団第1部（上下染田）郡大会へ

正しく素早い動作で優勝をつかんだ第3分団第3部

細心の注意を心がけて操作する選手（第2分団第1部）

平成28度湯前町消防団辞令交付式・ポンプ操法大会は4月3、B&G海洋センター一帯で開かれ、13部・14チームが出場。ポンプ操法大会では小型ポンプの部で第3分団第3部A（野中田）、自動車ポンプの部で第2分団第1部（上下染田）が優勝しました。

辞令交付式では退団者13人と新入団員12人に辞令が交付され、新入団員を代表して第1分団第1部（上里）の岩本直樹団員（18＝上里2）が宣誓文を読み上げました。20年以上勤続した退団者5人には表彰状が贈られました。優勝した2チームは7月31日、あさぎり町で開かれる郡大会に出場します。

被表彰者、競技の結果は次のとおり。

〈退団者〉

○本部　久保田　諭
〃　太田　国博
○第1分団第1部　平木　栄一
〃　中田　利美
○第1分団第2部　善　良治
○第2分団第1部　岩崎　龍巳
○第3分団第3部　椎葉　弘樹
〃　東　宏聡
○第3分団第4部　今田　豊
〃　黒木　政裕
○第4分団第2部　山本　正浩
○第4分団第3部　愛甲　秀樹
○第4分団第4部　湯前　洋司

〈入団者〉※途中入団含む

○本部　安井　佳奈
〃　黒木あさみ
○第1分団第1部　岩本　直樹
〃　井上　聖
〃　山井　英明
〃　下村　隆宏
○第1分団第2部　山野　瑛人
○第1分団第3部　森　義郎
○第3分団第3部　堤　一矢
○第3分団第4部　稲葉　翔太
〃　勘米良和彦
〃　大山　将矢
〃　吉田　克
○第4分団第1部　ギャレット・スタンフォード
〃　森田　明大

〈表　彰〉

▽日本消防協会定例表彰
○表彰旗　湯前町消防団

▽永年勤続功労者表彰
（勤続20年以上の退職団員）
○本部　久保田　諭
○第1分団第1部　平木　栄一
○第2分団第1部　岩崎　龍巳
○第3分団第4部　黒木　政裕
○第4分団第3部　愛甲　秀樹

〈ポンプ操法大会〉

▽小型ポンプの部
優勝　第3分団第3部A（野中田）
2位　第4分団第1部（上村）
3位　第3分団第3部B（野中田）

▽ポンプ車の部
優勝　第2分団第1部（上下染田）

▽敢闘賞
第4分団第4部（瀬戸口）
※前回14位から今回7位

No.2

ゆのまえグリーンパレス中段広場に新コテージ
奥球磨スギ・ヒノキをPR

ゆのまえグリーンパレス中段広場に建てられた新しいコテージの落成式が4月11日に開かれ、関係者65人が奥球磨スギ・ヒノキをふんだんに使った3棟の建物を見学しました。

平成25年、町が同広場の老朽化した遊具を撤去。周辺施設と調和のとれた活用策として、地元産材をPRするために上球磨森林組合、湯前木材事業協同組合、球磨プレカット株式会社が町へ提案し、それぞれ1棟ずつコテージを建てました。外構工事を終え、3月29日に町へ寄贈されました。

3棟は「桧香里の宿」「希望の宿」「湯恵の宿」と名づけられ、杉板の外壁や木製の窓枠など、ふんだんに地元の木材が使われています。中にはリビング、和室、ロフト、キッチンがあり、トイレ・シャワーも完備。1棟につき最大10人まで泊まることができます。宿泊料は1棟1万5千円（管理料として別途大人一人2000円、小学生1000円、小学生未満から3歳500円）。4月20日から、湯楽里ホームページと電話で予約を受け付け、4月29日から宿泊ができるようになっています。

式典では鶴田正已町長が「地元の木材を製品として他の地域に出品できるようになり、その良さが全国へ広まっている。他の地域はもちろん、地域の皆さまにも地元産材の良さを感じてもらいたい」とあいさつ。上球磨森林組合長の的場邦弘さんは「それぞれの事業体の力を合わせ、すばらしいものができた。地元産材をふんだんに使い、私たちも自慢できるものになっている。今後も積極的なPRに励んでいきたい」とあいさつしました。

1 3棟の完成を祝う関係者
2 地元産のスギ・ヒノキをふんだんに使った内装

湯恵の宿
（球磨プレカット）

新しい技術で直径40㌢を超えるスギの大木を加工。事業者がネットワークをつくり、研究・試作して完成した「球磨杉SSD材」が使われている。昨年、この取り組みはウッドデザイン賞を受賞している。51平方㍍。

希望の宿
（湯前木材事業協同組合）

球磨産のスギ・ヒノキを環境に優しい熱源と練度の高い技術で乾燥し、部材の強度と水分を確認。品質の高いJAS規格の木材が使われている。この材は今後需要の伸びが見込まれている。52平方㍍。

桧香里の宿
（上球磨森林組合）

現場で1本1本選別したこだわりのヒノキを使用。樹齢90年を超える奥球磨のヒノキを床や柱、隠れたところにも使い、木の質感やヒノキ独特の香りを楽しむことができる。52平方㍍。

※3棟すべて木造平屋建て

No.3 中学生としての自覚と誇りを

湯前中学校入学式

第70回湯前中学校入学式は4月11日、同校体育館で開かれ、38人の新入生が先輩たちの歓迎を受けながら、新生活への期待をふくらませていました。

担任の教師から名前を呼ばれた新入生は背すじをまっすぐ伸ばして立ち、大きな声で返事をしました。迫田正純（まさずみ）校長は「これからの3年間は一人の社会人としての準備期間で、心も体も大きく成長する時期。たくさん学んで、自分に自信を持てるようになってほしい」とあいさつしました。

生徒会長の本村斗（はかる）さん（同校3年＝中里1）が「湯中生として一緒に日本一の学校を目指そう」と新入生を温かく歓迎。新入生代表の藤岡顕将（とけん）さん（上里3）が「たくさんの期待と不安があるが、みんなで協力し合い、励まし合って乗り越えていく。3年間、湯中生としての自覚と誇りを持って頑張りたい」と誓いの言葉を述べました。

1 少し大きめの制服に身を包んで会場へ入場する新入生

2 中学生としての抱負を語った藤岡さん

No.4 新生活にドキドキワクワク

湯前小学校入学式

名前を呼ばれてまっすぐ立つ新入生

平成28年度湯前小学校入学式が4月11日に同校体育館で開かれ、32人の新入生が6年間の学校生活をスタートさせました。

体育館のドアが開かれ、新入生が入場すると、保護者や在校生など、たくさんの人が大きな拍手で歓迎。担任の教師が一人一人名前を呼び、新入生は元気な声で返事をしていました。

西浦大蔵（だいぞう）校長は「元気なあいさつ、先生の話を良く聞くこと、車に気をつけることの三つの約束を守って、元気に学校へ通ってくれることを願っている」とあいさつ。5、6年生は身振り手振りに歌を歌って新入生を歓迎しました。

新入生は式典後に教室へ移動。初めての友達、教室のイスや机など、新しいものに目を輝かせていました。

湯前のよか✶とこ発見！

～地域おこし協力隊です～

今月のリポーター ✶ 安井　佳奈

ゆる～く、楽しく、配信していきます

あなたの声が全国に…！？　「ゆのまえらじお」開設！

「ゆのまえらじお」の生配信を4月11日にサテライトオフィス（湯前駅前）で行い、湯前の情報を発信しました。「ゆのまえらじお」は、町民がインターネットを使い「ゆのまえらしさ」を生中継で伝える、新しい広報メディアです。放送テーマは特に決めず、ゆる～く放送しています！町民ゲストを迎え、イベント告知なども配信する予定です。

第1回の4月11日はおっぱい祭り直前企画として実行委員長がゲストで登場（祭りは熊本地震のため中止）。興味のある人、おしゃべりが好きな人、ぜひお越しください！

この機械を使ってインターネットができる環境を作りました

今昔両方のおもてなしが楽しめるのは湯前ならでは

ゆのまえ流のおもてなし　一部公共施設でインターネットサービスを始めました

「相良三十三観音めぐり」の一斉開帳に併せて、宝陀寺と上里の町観音に公衆無線ＬＡＮ（ラン）を設置しました（今後イベント時には設置予定）。公衆無線ＬＡＮは、無料でインターネットに接続できるサービスで、スマートフォンなどで使うことができます。簡単な操作で接続できるので皆さんもぜひ使ってみてください！湯前駅前などは毎日使えます。

お参りに来た人を地元の人が「お茶でもどうぞ」とおもてなしをする光景に、なんだか落ち着きました。来てくれた人にインターネットサービスとお茶を楽しんでもらう。現代と昔ながらのおもてなしの両方を味わえた1日でした。

■お問い合わせ先　「ゆのまえらじお」…… 総務課　地域おこし協力隊
公衆無線ＬＡＮ ……… 総務課　情報統計係
TEL　0966-43-4111

仲間が１人増えました！

４月から地域おこし協力隊員になった射場絵美（いばえみ）です。名字が珍しいのですが、おかげで名前を覚えてもらえます。出身はあさぎり町。以前は熊本市内の調味料メーカーで商品開発や購買業務をしていました。

湯前は日本の原風景が残っていて、市房山をはじめ山々が近く美しいまちです。米、水、空気がおいしく、人が優しいので（知っている限り、美人さんが多い！）これからの湯前ライフがとても楽しみです。ブドウやイチゴのほかにも未開拓の特産品がまだまだあるのでは？と思うので、皆さんと一緒に湯前のうまかもんを発見・発信できるよう頑張ります！

新地域おこし協力隊員
射場（いば）　絵美（えみ）（39＝中里２）

特集

平成28年度 施政方針・当初予算

湯前町長 鶴田（つるだ） 正已（まさみ）

■施政方針

昨年４月、町民の皆さまから信任をいただき、引き続き町長として湯前町政３期目がスタートしています。

昨年度にまちづくりの基本となる総合計画、総合戦略を策定し、いよいよ本年からが本格的な実行の年です。これから５年間が町の将来を左右する重要な期間。初心を忘れず、まちづくりに全力を尽くしてまいります。

平成52年に本町の総人口が２５１１人になると予測されています。国の動きに合わせて、人口減少や過疎化の克服、暮らしの不安の解消、雇用へとつながる農林商工業振興、にぎわいづくりなどの対策を実行していきます。

仕事と住まい、そして住みやすさが重要です。仕事づくりとして、地域の林業事業体と意見を交わし「さらなる林業資源を活用した雇用の創出」を目指します。「積極的な農業支援策」「福祉施策の充実による雇用の創出」を展開します。

子育て世代が入居できるよう公営住宅や地域優良賃貸住宅など住環境の整備や空き家を活用した定住支援策を行っていきます。保健センター、海洋センターなどを拠点として、町民の健康増進に取り組みます。町内には、特色のある湯前保育園と慈光保育園があります。さらなる保育サービスの充実に努め、子育てを支援していきます。学校施設では、充実した教育環境の整備に努めます。

日本遺産に認定された文化財、漫画、健康、自然を組み合わせた、活気のあるまちづくりを展開します。湯前駅を中心としたにぎわいを創出します。大学や企業と連携し、ＩＣＴ技術の活用で暮らしやすさの向上を図ります。公立多良木病院の運営や人吉球磨スマートインターチェンジを見越した交通計画、地域公共交通の再編など広域的な地域課題にも取り組んでいきます。

地域の課題を解決し、着実にまちづくりを加速させるよう取り組んでいきます。

■予算編成方針

◆育み、支え合う人と町づくり

1．後継者対策

○受け継がれてきた家業が絶やされないよう、引き続き、後継者育成と支援を行う。

2．教育

○知育・徳育・体育の調和的な推進を図り、未来を拓く人づくりを推進。

○認め、ほめ、励ましながら、児童・生徒の健全な心身の育成と学力の向上を目指す。

○学校と地域社会が一体となり、豊かな自然や文化、伝統を大切にし、思いやる心を持った豊かな人間づくり。

○子どもが安心・安全に学校生活を送れるよう、施設の維持・補修に努める。特別支援が必要な児童・生徒へインクルーシブ教育の充実を図る。

○一人一人が、生きがいを持てるよう自己の啓発、健康の増進、生活文化の向上を図り、心豊かな地域づくりを目指す。

○昨年４月に日本遺産に認定され、新たな価値と活用が広まってきた文化財の周知を図り、保護と活用に努める。

○広域連携事業を活用した特別展を開催し、漫画の町としての位置づけを高める。

○Ｂ＆Ｇ財団のモデル事業を活用し、文化・スポーツ活動の拠点づくりを行い、「健康で、楽しく、生きがいのある町」を目指す。関係機関と連携を図り、各種教室・大会を開く。

◆産業の振興

1．農林の振興

○本町独自の各種支援制度を周知し、強い経営体の育成に努める。六次産業化に取り組む農業者などを引き続き支援する。

○畜産奨励補助金の活用を促進し、優秀な素牛導入で畜産農家の活性化と所得向上を目指し、家畜防疫にも努める。

○ＩＣＴを活用した六次産業化の推進に努める。

○第一湯前地区（経営体育成基盤整備事業）、蓑谷地区（農村地域防災減災事業）、仁原地区（特定農業用管水路等特別対策事業）に取り組む。

○農地耕作条件改善事業により、永野地区、辻地区、大溝地区の用水路整備について、単年度での完了を計画。

○湯前町有林管理計画に沿って、年間約10ヘクタールの主伐を行い、必要な森林には間伐を行う。

○地域一体で鳥獣被害対策に取り組み、被害軽減に努める。

2．商工業・観光の振興

○商工会、観光物産協会などと連携して、観光客を商店街へ誘導し、個々の事業者へ経営持続・雇用拡大のために支援する。商工会が行うプレミアム商品券発行事業を引き続き支援する。

○日本遺産認定を活かして、歴史的文化財を含めた観光資源の活用を図る。観光案内人協会の設立など受入体制を整え、交流人口の増加に努める。

3．住環境の整備

○通学生と住民が安全に通行できるよう、昨年度着手した町道新村線歩道整備事業に取り組む。新たに町道学校線歩道整備事業に着手する。

○町道舗装修繕工事は本年度５路線実施の予定。

○橋りょう点検30橋分の業務委託を行う予定。橋りょうの補修工事を１カ所、３橋の詳細設計と永岡トンネルの詳細設計を予定。

○今後も必要事業の負担金を予算化し、さらなる住環境の充実を図る。

○森重東団地に地域優良賃貸住宅１戸の建設を計画。昨年に引き続き田上住宅の外壁工事、新たに里住宅の屋根・外壁の改修を予定。

◆健康・福祉の増進

1．健康の増進

○健康診査、がん検診、歯科検診、健康相談などを行う。各種予防ワクチンの接種、疾病の予防と早期発見に重点をおいた取り組みを行う。健康的な生活習慣づくりを推進して健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちを目指す。

2．福祉の増進

○支援が必用な一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯、認知症の人を地域の中で日常的に見守り、支える体制を整える。

○保育事業、学童保育についても財政支援を行い、未来を担う子どもたちを安心して、産み、育てることができるまちづくりを進める。

◆事務事業の見直し

○厳しい財政状況の中で、地方創生などの地域づくりや多様化する町民のニーズに対応できるよう「第４期湯前町行財政改革」にもとづいて行財政の運営を行う。

○予算編成や決算分析を活かして、創意工夫を重ねながら、「第5次湯前町総合計画」、「湯前町総合戦略」を着実に推進し、国の予算などの動向を踏まえて、予算編成を行った。

さらなる集客と地元産材のPRが期待されるグリーンパレスのゲストハウス

路面が整備され、にぎわいづくりの中心となる湯前駅前

ことし3月に完成し、本格稼働になった学校給食調理場

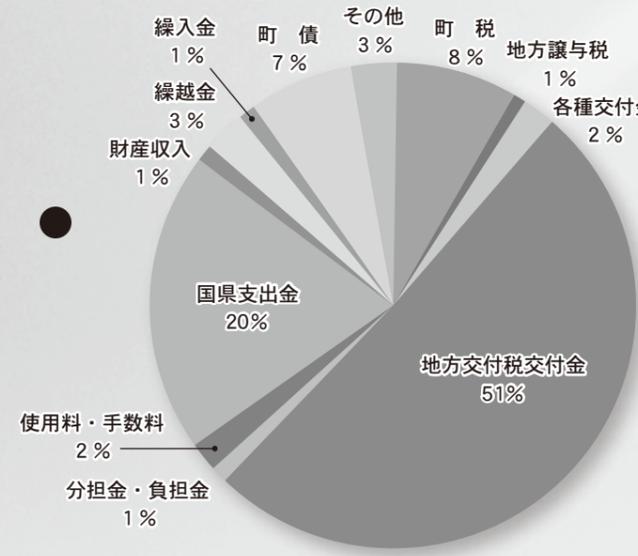
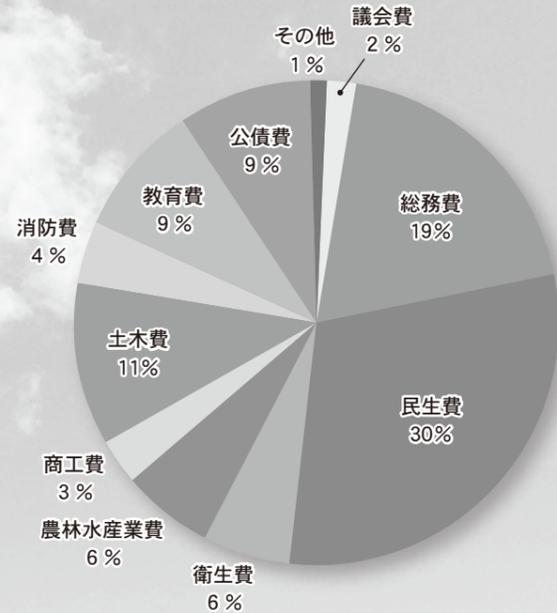
健康づくりだけでなく、いこいの場にもなったB&G海洋センター

「活き活きと輝き誇れる町」づくりの予算

平成28年度　一般会計予算

平成28年度湯前町一般会計の予算は、歳入、歳出ともに27億1477万4000円です。「活き活きと輝き誇れる町ゆのまえ」の実現へ向けた予算の内容をご紹介します。

歳 出（万円）

費目	金額	割合
議会費	6,354	2%
総務費	52,572	19%
民生費	81,894	30%
衛生費	16,142	6%
農林水産業費	17,293	6%
商工費	7,336	3%
土木費	30,863	11%
消防費	11,255	4%
教育費	24,349	9%
公債費	23,375	9%
その他	44	1%
合　計	271,477	100%

歳 入（万円）

費目	金額	割合
町　税	22,296	8%
地方譲与税	2,600	1%
各種交付金	6,517	2%
地方交付税交付金	138,570	51%
分担金・負担金	1,265	1%
使用料・手数料	4,583	2%
国県支出金	55,240	20%
財産収入	3,007	1%
繰越金	7,107	3%
繰入金	4,000	1%
町　債	17,965	7%
その他	8,327	3%
合　計	271,477	100%

区分	金額	割合
自主財源	50,585	19%
依存財源	220,892	81%
合　計	271,477	100%

♥ 議会費　※主なもの

項目	金額
会議録作成委託料	102万円

♥ 総務費

項目	金額
区長・交通指導員報酬など	864万円
町有林整備、管理委託	5,333万円
地域活性化事業（移住定住促進、イベント実行委員会補助金など）	1,445万円
光ケーブル網維持管理費	2,862万円
地域おこし推進事業	2,200万円

♥ 民生費　※主なもの

項目	金額
町社会福祉協議会補助金	2,257万円
障害者などの扶助費	17,193万円
国保会計への繰出金	6,160万円
療養給付費負担金	5,824万円
介護保険会計への繰出金	10,109万円
後期高齢者会計への繰出金	2,636万円
保育園の運営費	16,059万円
子どものための手当	5,408万円

♥ 衛生費　※主なもの

項目	金額
公立多良木病院企業団負担金	555万円
子ども医療費助成金	1,620万円
各種健診・予防接種委託料	2,774万円
水上葬祭場負担金	858万円
合併浄化槽設置補助金	347万円
ごみ処理施設負担金	4,867万円
し尿処理施設負担金	1,524万円

♥ 農林水産業費

項目	金額
農業委員報酬など	368万円
中山間地地域等直接支払交付金	3,112万円
多面的機能支払交付金	2,027万円
畜産奨励補助金	274万円
木材需要拡大促進事業補助金	300万円
有害鳥獣捕獲補助金	863万円

♥ 商工費　※主なもの

項目	金額
町商工会補助金	650万円
グリーンパレス指定管理料	1,176万円
観光物産協会補助金	540万円
まんが図書館管理運営委託料	70万円

♥ 土木費　※主なもの

項目	金額
下水道特別会計繰出金	9,594万円
町道維持補修費	6,000万円
住宅の建設、改修工事費	6,900万円

♥ 消防費

項目	金額
上球磨消防組合負担金	6,519万円
消防団員年報酬・訓練手当	825万円
各部維持費補助金	174万円
被服購入費	718万円
消防用備品購入費	169万円

♥ 教育費

項目	金額
湯前小学校運営費	2,719万円
湯前中学校運営費	2,821万円
公民館活動運営費	1,531万円
湯前まんが美術館運営経費	1,461万円
体育施設維持管理経費	4,124万円
学校給食経費	3,323万円

♥ 公債費

項目	金額
元金	20,654万円
利子	2,722万円

♥ 町税

項目	金額
町県民税	8,584万円
固定資産税	10,022万円
軽自動車税	1,231万円
たばこ税	2,400万円
その他	59万円
町税合計	22,296万円

♥ 地方譲与税

項目	金額
自動車重量譲与税	1,850万円
地方揮発油譲与税	750万円
その他	0.1万円
地方譲与税合計	2,600万円

地方譲与税：国税として徴収したものを町に対して譲与するもの。

♥ 地方交付税

項目	金額
普通交付税	138,570万円
特別交付税	0.1万円
地方交付税合計	138,570万円

地方交付税：国税を財源にして、全国どの町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国が町に交付するもの。

♥ 分担金・負担金　※主なもの

項目	金額
美しい農村再生支援事業分担金	74万円
湯前保育園入所児童保護者負担金	892万円

♥ 使用料・手数料　※主なもの

項目	金額
湯前町インターネット使用料	1,388万円
町営住宅使用料	2,572万円
教育施設使用料	131万円
窓口（戸籍、住民票など）証明手数料	230万円

♥ 国・県支出金　※主なもの

項目	金額
保育所運営費負担金	5,968万円
障害者福祉費負担金（国）	7,172万円
子ども手当・子どものための手当負担金	3,726万円
農業費補助金	4,562万円
林業費補助金	3,784万円

♥ 財産収入　※主なもの

項目	金額
木竹売払収入	2,968万円

♥ 繰入金　※主なもの

項目	金額
財政調整基金繰入金	4,000万円

♥ 繰越金

項目	金額
前年度繰越金	7,107万円

♥ 町債　※主なもの

項目	金額
臨時財政対策債	7,824万円
道路整備債	4,160万円
住宅整備債	4,030万円

町債：町の事業で財源が不足する場合、外部から資金を調達するもので、長期的な借入金のこと。

このまちで、このまちの人のために、

一生懸命頑張ります!!

産業振興課
黒木　あさみ（くろき）

教育課
山野　瑛人（やまの　あきと）

保健福祉課
岩本　直樹（いわもと　なおき）

YUNOMAE TOWN　NEW FACE

新規採用職員の 抱負

湯前町の皆さんに温かく迎えていただいて、とてもうれしいです。湯前町との関わりも多い西米良村の出身なので、２町村の架け橋になりたいと思っています。まだまだ分からないことばかりですが、１日でも早く町の皆さんの力になれるよう努力していきますので、よろしくお願いします。

産業振興課地域再生戦略推進係兼農業振興係主事
黒木　あさみ
（23＝野中田１）

私は保健福祉課保健福祉係として、保健センターで勤務しています。主な担当は障害福祉です。１日１日しっかりと職務をこなして、１日でも早く町民の皆さんや職員などから信頼される職員になります。これからは町職員としても湯前町民としてもよろしくお願いします。

保健福祉課保健福祉係主事
岩本　直樹
（18= 上里２）

新規採用職員として、課題はいろいろありますが、中でも湯前町出身ではない私たちにとって、一番の課題は知識としてではなく、イベントや町民の皆さんとのふれあいで、実体験として湯前町を知ることだと思っています。よそものではなく、湯前町民の一人として思っていただけるよう精一杯頑張っていきます。

教育課学校教育係兼社会教育係主事
山野　瑛人
（26＝中里２）

町職員異動

㊦退職（３月31日付）
※（　　）内は前所属

○黒﨑　昌三（保健福祉課長）
○野中　若治（産業振興課長）
○苗床　由美（保健福祉課付け主幹）
○岡村　靖（教育課学校教育係参事）

新教育長

中村　和弘（なかむら　かずひろ） 教育長
（60＝相良村出身）

平成19年から平成21年まで3年間湯前小学校でお世話になりました。大きな湯前町で町民の皆さまと一緒に仕事ができることをとてもうれしく思います。今後、微力ではありますが、これまでの教職経験を生かし、湯前町の教育がさらに充実発展するよう全力をつくしてまいります。よろしくお願いいたします。

役場の組織体制をご紹介します

（４月１日付）　※太字は人事異動、（　）は兼任、網掛けは新任

◆町長部局（鶴田　正已町長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
総務課（12人）	白川　一雄	日當　裕二（課長補佐）	情報統計係	（日當　裕二）	蔵座　祐平
		西村　洋一（企画振興係担当）	管財防災係	荒木　龍二	（蔵座　祐平）
		本山　りか	企画振興係	（本山　りか）	勘米良　康隆
		高橋　誠	総務係	（高橋　誠）	姫野　宏太 右田　千晴
			財政係	黒木　博行	（勘米良　康隆） （姫野　宏太）
			総務課付（熊本県後期高齢者医療広域連合出向）		沖松　泰豪
税務町民課（10人）	皆越　克己	堤田　真由美	町民係	兼田　奈緒美	（藤本　尚）
			保険医療係	佐藤　大	藤本　尚 （那須　文枝） （福山　祐里子）
			町民税係	植木　圭一郎	那須　文枝 （福山　祐里子） 渕上　駿 （滝上　紘史）
			固定資産税係	有馬　博士	（那須　文枝） （渕上　駿） 滝上　紘史
			収納係	（有馬　博士） （植木　圭一郎）	
会計室（２人）	会計管理者 北崎　真介				福山　祐里子 （那須　文枝） （滝上　紘史）
保健福祉課（11人）	愛甲　正之	中西　博子	保健福祉係	赤池　寛子	山崎　祥子 落合　由衣 岩本　直樹
				保健師	野々原　亜紀
				保健師	東　和美
			環境衛生係	平山　美紀	（落合　由衣）
		髙木　堅介	介護保険係	（髙木　堅介）	（落合　由衣） 豊後　真由
建設水道課（６人）	稲森　一彦		管理係	浅田　徹	（那須　信吾） 溝下　寛明
			整備係	伊藤　賢一郎	橋本　康平
			水道係	（浅田　徹）	那須　信吾
産業振興課（10人）	皆越　利次	中園　誠二	農業振興係	（中園　誠二）	（椎葉　祐介） 澁谷　将人 （黒木　あさみ）
			農林整備係	椎葉　泰裕	椎葉　祐介
			地域再生戦略推進係	赤池　昌信	（澁谷　将人） 黒木　あさみ
			商工振興係	佐藤　由美子	（岩野　浩平） 西　公文
			観光推進係	岩野　浩平	（佐藤　由美子） （西　公文）

◆町議会（山下　力議長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
議会事務局（２人）		那須　康清			澤田　明日香

◆教育委員会部局（中村　和弘教育長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
教育課（８人）	堤田　秋男	柳田　和子	学校教育係	（吉田　真紀）	栗原　利香 山野　瑛人
			社会教育係	吉田　真紀	黒木　優士 （山野　瑛人）
				文化財担当	藤崎　正人
			社会体育係	（吉田　真紀）	工藤　陽平 （藤崎　正人）
			学校給食共同調理場	（柳田　和子）	

◆農業委員会部局（稲森　英雄会長）

課・局	課長・局長	主幹	係	係長	係員
農業委員会（２人）		吉田　精二			山口　真子

地方創生

平成２８年度から本格始動

総合計画を基盤にした住民総活躍のまちづくり

湯前町議会定例会が平成２８年３月１０日から１８日まで開かれ、上球磨消防組合負担金の修正可決や、地方創生予算など３９議案を審議しました。一般質問では、地方創生に向けた地域の課題など、４人が町政を質しました。

一般質問

町長の政治姿勢について

椎葉　弘樹　議員

〈行政改革〉

質問 職員採用と職場づくり

答弁 鶴田町長

面接時に「湯前町に住んでいただけますか」という思いは伝えつつ、今後も対応したい。採用年齢の引き上げや、中途採用は、事業などで必要だと思えば、そういった道も決してないことはない。

上下関係を築きながら、役所の人間関係が構築できなければ、町民の皆さまとのコミュニケーションも取れない。職員である前に一人の人間として成長し、町のためにしっかり仕事していただきたい。

〈総合戦略〉

質問 人口ビジョンと住宅整備

答弁 鶴田町長

最近興味を持っているのは、3世代同居やとなり同士に住むことの住宅政策も一つの柱にできないかということ。空き家は、民間の不動産屋の知恵も借りながら、その活用を考えなければいけない。若者向け住宅は、担当課で様々な情報を仕入れながら計画し提案したい。

〈町長3期目の基本政策〉

質問 漫画を核とした魅力あるまちづくり

答弁 鶴田町長

漫画の町としての印象がない、まんが図書館が常設展示できてないなど、いろいろな意見をいただいている。これも二十数年やってきたからこその話で、これまでの漫画家との関係は、よその自治体では持ち得ない。まんが図書館・美術館の活用を、今後どう具体化し展開していくのか、駅周辺の取り組みの中で議論している。

質問 産業政策と大胆な財政出動

答弁 鶴田町長

地方創生の中で、財政出動の必要性だけでなく、どういう順番でどう展開していくかも、重要。各課が知恵をとりまとめて、いよいよ28年度から実行となる。地域の経済循環は大変重要なことなので、そういった取り組みも併せてできればと考える。投資の時期は、しっかりと計画し、内容について精査してからの対応になる。

［その他の質問］

◎新教育長の人事
◎政策課題や不祥事などの住民説明
◎ＩＣＴによる暮らしやすさの向上
◎人づくりは地域づくり

〈地方創生〉

味岡　恭　議員

質問 湯前町総合戦略（人口の推移、農業支援）

答弁 鶴田町長

各種講演会や意見交換の場も数多く持ちながら、その思いや情報を収集、整備している。展開した事業の成果報告がこれまでと違う点であり、事業効果の検証が必要。この町の一次産業などの資源をどう活用し、町のにぎわいをどう創設するのか。高齢者の暮らしをどう支え、子どもたちの教育環境をどう整えるかなど、様々な分野におよぶ。危機的状況をチャンスに変え、地域の情報と資源を発信しながら、仕事づくりに結びつけていく壮大な計画。このこと以外に生き残る道はない。行政としては、あらゆる情報を収集、提案しながら、取り組む覚悟でいる。まさに町民総活躍の機会と捉えながら、しっかり取り組みを進めていきたい。

〈買い物弱者対策〉

倉本　豊　議員

質問 福祉事業を観点にしたＪＡでの取り組みができないか

答弁 鶴田町長

Ａコープ、商工会、物産協会などと協議する中で、道の駅や直販所の話が出てくる。見守りや交通弱者の対策と組み合わせ、各事業体が着手し研究することが、地方創生の大きな取り組みの柱になる。本町は、比較的に意見の集約も図りやすいのではないか。ＪＡ芦北がセブンイレブンと一緒になり、宅配サービスを始めた事業もある。このような事業の取り組みが、道の駅や直販所に必ずリンクする。ここが知恵と汗の出しどころだと考える。

質問 交通弱者

答弁 鶴田町長

より利便性を高くすることは、逆にコストもかかる。本町は、比較的人口集積が進んでいて、他自治体に比べると運行距離の負担が少ない。各自治体内でしっかりとした交通体系を考えなければいけない。自治体間の交通体系が課題になる。高齢者の交通事故を考え、免許の返納をいただくためにも、代替交通の整備が必要という話も出ている。高齢者や子どもたちの足をどう守るのか、周辺地域も含めた課題として、今後、取り組んでいかなければいけない。

〈小中一貫教育〉

金子　光喜　議員

質問 本町での小中一貫教育の可能性

答弁 鶴田町長

数年前、中学校のプール横に小学校の小プールを作るなど、ハード面では小中一貫教育の可能性は大きい。教育委員会でも、勉強会の話をいただいている。教育現場や町の思いなど、様々なことを一致させて進めていくことが理想。求めるべきは、子どもたちにとっての良い教育環境なので、今後しっかり研究していきたい。

〈消防広域化〉

質問 人吉下球磨消防組合との統合・連携

答弁 鶴田町長

以前、あさぎり町長と議会から西分署の建設要望が出された。本当に住民の皆さまの要望なのか、議会の総意なのかを協議していただくよう、話を差し戻した状況。今後の人口構造を考えると、維持経費が大きな課題。下球磨の東分署対応になれば、車両と人員を上球磨から提供しないと、下球磨のメリットはないのではないか。上球磨地域の消防力（消防団含む）を精査し、庁舎建て替えの規模、装備、人員なども協議しなければいけない。

総合戦略答申

平成28年度当初予算

※主なもの

▼歳　出

○ふるさと納税関連　６７９万６千円
○移住定住促進事業関連　６６６万１千円
○地域情報化推進事業委託料　３４９万２千円
○ＩＣＴ利活用協議会補助金　５００万円
○湯前町農産物加工施設改修工事　１８０万円
○地域おこし推進費　２２００万円
○土地利用型農業経営確立支援対策補助金　存　目
○農業機械施設等導入補助金　存　目
○施設園芸規模拡大等支援補助金　存　目
○農業後継者等支援補助金　存　目
○湯前版中山間地域直接支払補助金　存　目
○有害鳥獣捕獲補助金　８６３万円
○湯前町小規模事業者持続化補助金　存　目
○湯楽里庵連絡通路新設工事関連　２８０万円
○湯楽里マイクロバス購入費　７００万円
○公営住宅改修工事（田上住宅、里住宅）　４００万円
○地域優良賃貸住宅建設工事関連（森重東団地1戸）　１９５０万円
○消防団活動服購入費　７１７万８千円
○学校ＩＣＴ支援委託料　１８６万７千円
○小中学校ＩＣＴ関連機器等使用料　４９５万７千円
○美術館等改修工事設計監理委託料　存　目
○公認奥球磨ロードレース大会負担金　３３０万円
○Ｂ＆Ｇ海洋センター修繕工事関連　２３２０万円

議会だより

○B&G地域コミュニティ再生モデル事業備品購入費　250万円
○生活支援コーディネーター業務委託料　345万3千円

ICTを使った授業（湯前中学校）

平成27年度補正予算
※主なもの

【凡例】
◎：地方創生加速化交付金

▼歳出
◎B&G海洋センター改修工事　500万円
◎スモールハウス設置工事　1500万円
※駅周辺にまんが図書館やひなまつり展を常設するための施設
◎生き活き社会参画のまちづくりプロジェクトチーム補助金　860万円
◎くまもとメディアコンテンツコミッション協議会負担金　2170万円

条例
※主なもの

○湯前町行政不服審査会条例の制定
○湯前町グリーンパレスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
※新コテージ3棟の利用料金

その他の議案
※主なもの

○湯前町農産物加工施設（精米所）の指定管理者
※農業公社が4月から運営
○合志市と湯前町の広域連携協約の締結
○湯前町総合計画基本計画を定めること
○湯前町過疎地域自立促進計画を定めること

任命同意

○湯前町教育長の任命
中村　和弘さん（全員賛成）

常任委員会報告

◆総務常任委員会
11月　ふるさと納税
12月　地域おこし協力隊
2月　上球磨消防署の現状と課題
3月　湯前町地域情報発信対策事業の進捗状況

◆経済建設常任委員会
11月　農業関連の総合戦略と補助金
12月　町営住宅の現状と今後の計画
2月　農業公社の運営状況と今後の課題
3月　平成27年度工事の進捗状況

◆厚生文教常任委員会
11月　湯愛の運用と施設の現状
12月　図書館の運営状況と施設の維持管理
2月　学童クラブの現状と今後の課題
3月　学校ICT利活用の状況

トピックス

◆政治倫理審査会 その後の対応

1月7日に政治倫理審査会の報告を受け、議員全員協議会で今後の対応について協議しました。一連の経緯や議会の対応などについて、最終報告書として取りまとめ、住民の皆さまにお知らせします。

◆上球磨消防組合 庁舎建て替え関連予算に動議

湯前町一般会計予算で計上された庁舎建て替え関連予算392万6千円を減額提案し、可決しました。平成24年3月に行われた庁舎の耐震調査結果は、不適格でした。それから4年間、庁舎建て替えに関する具体的な基本計画は策定されていません。地域防災拠点として、老朽化や耐震化による庁舎建て替えは、早急に対応しなければなりません。

◆公立多良木病院の財政再建と地域医療の確保を求める

公立多良木病院議会は、3月定例会で提出された同企業団の財政再建と地域医療の確保を求める議員発議を、賛成多数で可決しました。平成28年度の予算編成は、約1億7000万円の純損失が見込まれています。議会から提出を求められていた経営改善計画の報告では、約7300万円の経費削減効果額が示されました。

編集後記

鶴田町政3期目は、まさに地方創生の重要な期間です。
本年度は、4年に1度の議員改選の年であり、議員力が今まさに問われています。
住民はもとより、執行部と議会がそれぞれの力を発揮した自治体だけが、今後生き残っていく時代に突入しました。
湯前町の理念とビジョンを共有し、町民総活躍のまちづくりを目指しましょう！

◆編集委員
椎葉弘樹・金子光喜

4月6日（水）

思いを一つに安全を確保
「春の全国交通安全運動」合同推進大会

「春の全国交通安全運動」にともなう4町村合同推進大会は4月6日、農村環境改善センターで開かれ、約300人が参加し、交通安全キャンペーンをスタートさせました。

春の全国交通安全運動は4月6日から15日、学生の新学期に合わせて行われ、推進大会は多良木地区交通安全協会と上球磨4町村が主催。式典は湯前中学校吹奏楽部の演奏で始まり、アトラクションとして慈光保育園児の体操も披露されました。

鶴田正己町長は「人任せでなく、一人一人が各組織に声をかけ、思いを一つにして上球磨の安全を確保していただきたい」とあいさつ。交通安全講話のあと、管内の団体の代表者が交通安全宣言を行い、屋外では参加者が200個の風船をリリースして交通安全を願いました。

風船リリースで安全を祈願した参加者たち

4月9日（土）

こども園としての保育がスタート
慈光こども園入園式

幼保連携型認定こども園「慈光こども園」（藤岡孝史園長）の入園式が4月9日に同園で開かれ、95人の園児たちが入園や進級を祝いました。

同園は熊本県から認定を受け、ことし4月1日から幼保連携型認定こども園としてスタート。幼稚園と保育所の認可をもち、就学前の子どもに教育・保育・子育て支援を一体的に提供していきます。

式典では名前を呼ばれた園児が一人一人元気に返事をし、代表の園児が献花献灯。「毎日元気に通うこと、元気にあいさつをすること、家族への感謝の気持ちを持つこと」を藤岡園長と約束しました。藤岡園長は「職員の配置も手厚くなった。子どもたちの利益につながる情報をいち早く現場におろし、一人一人の発達を見据えていきたい」とあいさつしました。

たくさんの人が見守る中、献花をする園児

4月13日（水）

元婦人会員らの寄付金でのぼり旗が完成

昨年9月、湯前小・中学校に寄付金を贈った湯前町婦人会の元会員ら13人が4月13日に湯前小（西浦大蔵校長）を訪れ、寄附金で作られたのぼり旗の完成を喜びました。

同婦人会は平成4年に熊本市で開かれた九州婦人大会の負担金を納めようと、同3年から廃品回収を始め、その後も同7年までに18回行い、残った23万9400円を昨年小・中学校へ寄附。湯前小では寄附金の一部を使い、「まいにち元気で」「ゆたかな心で」「えがおのあいさつ」「のばそう学力」のスローガンが入ったのぼり旗が作られました。

昭和56年から平成6年まで会長を務めた東キヨ子さん（87＝野中田2）は「旗ができあがり感無量。当時会員みんなで頑張ってきたことを思い出す」と話し、西浦校長は「児童がこの言葉をより意識して学校生活を送ってくれれば」と話しました。

のぼり旗の完成を喜ぶ元婦人会員ら

No.1 妖怪たちの旅物語をとくとご覧あれ 水木しげるの妖怪道五十三次～ゲゲゲの妖怪図鑑～ 好評開催中!

■期　　間　平成28年6月26日(日)まで　会期中無休
■開館時間　午前9時30分～午後5時まで
■観 覧 料　高校生以上　300円　小・中学生　100円
■お問い合わせ先　湯前町教育委員会　℡0966-43-2050

「ゲゲゲの鬼太郎」で有名な漫画家、水木しげるさんが描き上げた「妖怪道五十三次」。歌川広重の「東海道五十三次」の旅をモチーフに、のべ350体もの妖怪たちが日本橋から京都までを旅します。全55枚に描かれる鬼太郎、ねずみ男が妖怪たちと起こす珍事、変事、一大事を存分にお楽しみください。鬼太郎・妖怪ジオラマなどの展示や写真撮影コーナー、複製画、ポストカードなどのグッズ販売もあります。

No.2 投票率64.29%

前回県知事選から5.98%増　熊本県知事選挙

熊本県知事選挙が3月27日に行われ、町内4カ所で投票、湯前町保健センターで開票がありました。本町の投票率は4年前の同選挙の58.31㌫から5.98㌫増の64.29㌫。期日前投票・不在者投票を済ませた人は767人でした。

〈投票結果〉

	男(人)	女(人)	合 計(人)
選挙当日有権者数	1,579	1,905	3,484
投票者数	1,021	1,219	2,240
⇒うち期日前・不在者	311	456	767
棄権者数	558	686	1,244
投票率	64.66%	63.99%	64.29%

〈開票結果〉

中央公民館図書室 読書のススメ

すべての予想を裏切る結末まで、一気読み必至！

偶然、僕が拾った1冊の文庫本。それはクラスメイトである山内桜良がつづった、秘密の日記帳だった。圧倒的デビュー作!

君の膵臓(すいぞう)をたべたい
住野 よる(著)　双葉社

毎日を「特別な日」のように生きる

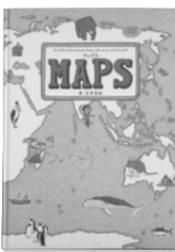
間食はせず、食事を存分に楽しむ。上質なものを少しだけ持ち、大切に使う。日常のなかに、ささやかな喜びを見つける。典型的なカリフォルニアガールだった著者は、フランスの貴族の家にホームステイすることになる。その家を取り仕切るマダム・シックから学んだこと、それが毎日を「特別な日」のように生きること。

フランス人は10着しか服を持たない
～パリで学んだ"暮らしの質"を高める秘訣～
ジェニファー・L・スコット(著) 神崎 朗子(翻訳)　大和書房

超高齢社会の必読書

「在宅ひとり死」のススメ。何でもあり、どんな死に方もあり!身近な友人の死を経験して「次はいよいよ私の番だ!」と切実な関心のもとに、医療・看護・介護の現場への取材から得た収穫を、惜しみなく大公開。

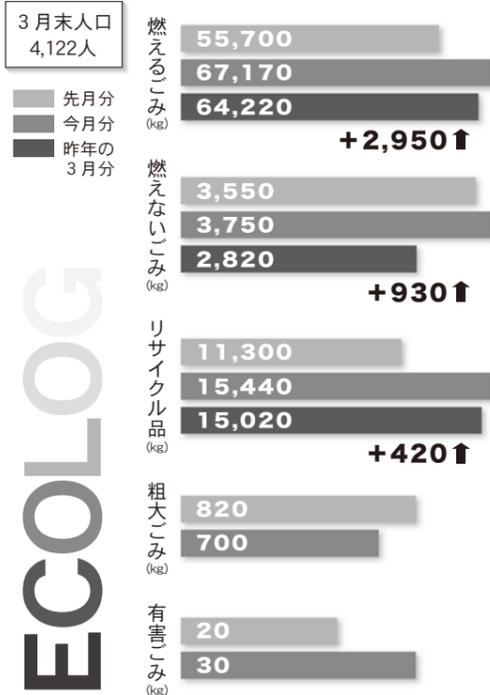
おひとりさまの最期
上野千鶴子(著)　朝日新聞出版

あらゆる分野を網羅した、現代版「世界図絵」

4000以上のイラストで、42カ国を紹介。湖、河川、山脈、海、砂漠、岬…などの地理情報が満載。世界198ヵ国の国名と首都の場所を掲載。巻末に、世界198ヵ国の国旗一覧を収録。ポーランド発、世界中で大人気の大型地図絵本。

マップス: 新・世界図絵
アレクサンドラ ミジェリンスカ(著)ほか　徳間書店

○平日　8：30～17：00
○土日・祭日　9：30～17：00
※貸出期間は２週間で、一人５冊まで。

［お問い合わせ］中央公民館
℡0966-43-2050

4月のごみ情報 ゴールデンウィークは片付けるチャンスです！

気候も暖かくなり、そろそろ薄手のものを…と衣替えをしようと思っている人も多いのではないでしょうか？５月に入ってすぐに大型連休です。この機会に、たまった新聞紙・古雑誌・空き缶・空きびんなど、まとめてリサイクルしませんか？リサイクルステーションは年中開いています。きちんと分別し、缶やびんは洗って、決められた場所に出しましょう。

リサイクルステーションからお願い

リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。
汚い物、不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別をお願いします！

×アルミ缶の所に、洗っていない・中味が入っているびん類、スチール缶などが入っている
×分別していない（紙製容器包装の所にびん類、プラスチック製の容器が入っている）

スプレー缶・ガスボンベ缶は
必ず使い切り、穴を空けてください！
重大事故につながります。

※５月の不燃物収集は**１８日**です。（第３水曜日）

-湯前町青年団だより-

がまだすっ!

団長　瀧森　道太
2016　VOL.7

ことしも精一杯頑張りますのでよろしくお願いします！

平成28年度広報部長
工藤　祐二（ゆうじ）
（19＝中里1）

昨年は、新入団員でしたが、ことしは広報部として、たくさん青年団の情報を発信していきたいと思います。よろしくお願いします！

役員紹介

役職	氏名	地区
団　長	瀧森　道太	下　城
副団長	坂口　真紀子	下　里
〃	工藤　正明	中里１
事務局／会計	渕上　駿	植　木
企画部長	椎葉　直斗	田　上
社会産業部長	右田　千晴	下　村
文化部長	溝下　寛明	野中田２
体育部長	野田　翔平	馬　場
広報部長	工藤　祐二	中里１
監　事	右田　恭平	浅鹿野
〃	豊永　浩平	上　村
球青協常任理事	姫野　宏太	中里２
〃	橋本　康平	上里２

今後の予定　NEW INFORMATION YUNOMAE SEINENDAN

５月　新入団員歓迎会
　　　球青協体育祭

戸籍の窓

平成28年3月1日～平成28年3月31日

ご結婚おめでとう

♥栗秋　宏徳（上里３）
　笹井　咲枝（大阪府）

♥長野　良太（中猪）
　的場　なつみ（中猪）

♥渕上　駿（植木）
　愛甲　芙弓（人吉市）

たんじょうおめでとう（うぶごえ）　保護者名

藤村（ふじむら）　依史（いちか）　美憲（上染田）
岩野（いわの）　統惟（とうい）　浩平（瀬戸口）

ご冥福をお祈りします

皆越　貞利（植木）
椎葉　嵐（田上）
中村　勇（上染田）

香典返し

藤本　スエ子（田上）
永濵　スミヨ（上里３）
久保　京子（あさぎり町）
那須　萬利男（古城）
中村　カズ子（上染田）
皆越　シゲ子（植木）

保健師だより

「集団健診」と「総合健診」、あなたはドッチ派？!

～５月は集団健診の季節です～

①集団健診とは

保健センターで受ける健診のことです。特定健診を含む、各種がん検診など、検診項目ごとに申し込むことができます。

地区ごとに日時が決まっています。申し込んだ人は配付される問診票と以下の表を確認してください。

②総合健診とは

コスモなどの健診機関で受ける健診のことです。対象の人へ１月末～２月に申込書を配っています。決められた提出期限内に申し込んだ人は健診機関とのやり取りで日程が決まります。

うちのお父さんお母さん、
おじいちゃんやおばあちゃんは、
どっちで受けてるのかな～？

集団健診はこれからでも申し込みできます!!（※事前連絡必要）

家族や友だちのために！
趣味を楽しむために！
健診は病気や重症化を
予防する第一歩です。

もし健診予定がなければ、これからでも集団健診の申し込みができます。希望する人は早めにご連絡ください。

集団健診の日程は次のとおりです。

	5/10（火）	5/11（水）	5/12（木）	5/13（金）
7:00～7:30	上村	浜川・中里２	野中田３	上染田・植木
8:00～8:30	瀬戸口	上里１	田上・中里１	古城
9:00～9:30	下村	上里３	馬場	浅鹿野
10:00～10:30	下城・野中田２	野中田１・下里	上猪・中猪	下染田・上里２

(!) くわしくは湯前町保健センターへお問い合せください。☎0966-43-4112〈保健師：野々原〉

［今月の表紙］
4月。新生活のスタート。新しい制服に身を包んだ湯前中の新入生。まっすぐな瞳に、伸びた背すじ。新入生は大きな期待と少しの不安を胸に、自分の夢への第一歩を踏み出しました。

編集後記

editiorial note

▼熊本県で震度7という強い地震が起きました。湯前は震度４ほどの強さでしたが、私も強い揺れに恐怖を感じ、すぐさま外へ。その後役場で待機しましたが、余震で時折庁舎も揺れました。「まさかこんな身近なところで強い地震が起きるとは」。きっとだれもが思ったでしょう。「どうやって避難するの？」「避難場所はどこ？」。いざとなってから考え出しても間に合いません。改めて事前の準備が大切だと痛感させられました。大きな被害が出た地域の一刻も早い復旧を願います。

▼新学期が始まり、まちの子どもたちが元気に通学しています。学校給食調理場も新しくなりました。私も給食を試食させていただきました。いわしの生姜煮がとてもおいしく、進むご飯。「これだけおいしい給食を食べられる子どもたちは幸せだなぁ」と感じました。子どもたちには食べることに喜びと感謝を感じながら、大きく成長してほしいものですね。（宏）

yunomae 05
Vol.419
MAY.2016
湯前町広報誌

未来を担う一人一人に届ける愛情（きゅうしょく）—。

学校給食調理場落成式後の給食（湯前小学校２年生）

「食」。それは人が毎日を生きていくために必要なもの。

子どもたちの健やかな成長を願い新しい給食が始まった。

地元生産者の豊かな食材、それを活かす調理師の献立。

安心安全なおいしさで、「食べる」喜びを感じてほしい。

給食には未来を担う一人一人に愛情が込められている。

広報ゆのまえ5月号

TEL 0966-43-4111　FAX 0966-43-3013
URL http://www.town.yunomae.lg.jp/

※ご意見投稿はこちらから

発行／湯前町役場総務課 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
発行日／平成28年4月28日 印刷／(有)町田印刷